

素晴らしい演奏家たち

三輪 郁(ピアニスト)

7月18日の「第19回定期演奏会」で指揮の秋山和慶氏と共演するピアニスト三輪郁さんをご紹介します。
郁さんはどんな家庭に生まれ育ったのでしょうか。父親はNHK交響楽団で33年間トロンボーン奏者を務められ、そして母親は名古屋出身でピアノ教師、祖母もピアノ教師、伯母はピアニスト、妹はヴァイオリニスト。そんな音楽一家に生れ、愛情をいっぱい注がれて育った正真正銘の『お嬢さん』です。

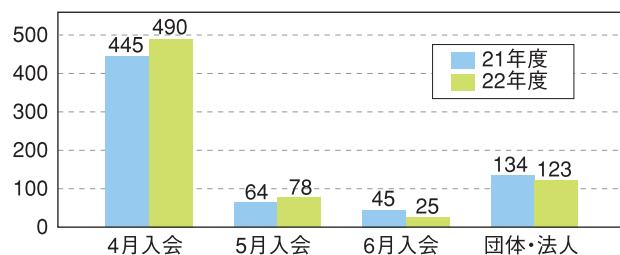
小学校の卒業アルバムには「ピアニストか女優になりたい」と書かれていました。音楽を聴いても自分で弾いても、物語をつむぎだすすっかり登場人物になりきっていたそうで、バレエや演劇にも興味を持ち、表現することが好きだったようです。また、片手でピアノを弾きながら片手でマンガを読むという奇才ぶりも。

ピアニストになってからは、ソロ・室内楽・伴奏・オーケストラとの協奏曲と、あらゆる分野で活動中。春風亭小朝師匠との共演や「のだめカンタービレの音楽会」のピアノ出演も大好評。中部フィルとの3回目の共演も注目度ナンバーワン。

本番前の食事はカツサンド、舞台に出るときは後ろの背中をパンと叩いてもらって本番に臨みます。 T.

平成22年度支援会員更新状況(平成22年4月～6月15日現在)

日頃より当楽団に多大なご支援を頂き、ありがとうございます。
支援会員更新状況は表の通りです。皆様のご協力のおかげで4月・5月につきましては、昨年を超えるご入会を頂くことができました。創立10周年を迎え、会員の皆様のお力をお借りし更なる飛躍を目指して努力してまいります。更新手続きがまだの方、また昨年8月以降ご入会の方にも、有効期限が切れる1ヶ月程前にはご案内をさせて頂きましますので、是非とも更新して頂きますようよろしくお願い致します。



事務局だより

山本常見

この4月から中部フィル事務局の新メンバーとして加わることになりました。昨年3月に退職後のんびりしていたところ、予想もしなかった音楽関係のところで働くことになりました。

聞くこと、見ることが、新鮮かつ不思議な環境の中で3か月が過ぎましたが、今までの職場とは違った感覚で毎日の仕事に精励しています。音楽に無案内なことが却って仕事において利点になる、なんてことはどこまで行ってもないので、これからは少しずつ慣れていかなければ...と思っています。

文化不毛の地とまで言われた小牧市において、10年前に発足した中部フィルの今日ここまでの成長を見ることができるのは、文化振興を主要施策の一つに掲げた小牧市の後押しはもちろんのこと、楽団員、事務局スタッフ、そして支援して下さる企業や個人の皆様の力があってこそと思います。

紆余曲折という言葉があります。中部フィルがさらなる飛躍を遂げるには、今以上の困難を乗り越えなければならないかもしれません。そのためには中部フィル関係者全員が一致協力して進まねばと思っています。

ホームページが8月より新しくなります。ご期待下さい!

中部フィルだより 第12号

発行日 2010年7月1日
発行所 NPO法人
中部フィルハーモニー交響楽団
<事務局>
〒485-0041 小牧市小牧二丁目107(市民会館内)
TEL:0568(43)4333 FAX:0568(43)4334

編集後記

- 創立10周年を迎え、今年度の楽団テーマは「飛翔」です。ダーウィンの進化論ではないですが生き残り更に発展するために「未来に向けて常に進化を続け、飛躍を目指す」と心強く宣言しています。
- 今年には役員の改選期、新役員の方からも「着実な進歩」と共に「問題を外に求めるのではなく内でも努力する姿勢の大切さ」が言われていますが、これも確りと捉えてゆきたい課題です。 A.

NPO法人中部フィルハーモニー交響楽団

中部フィルだより

今年度も4月は刈谷市の第九演奏会、5月は小牧市の市制55周年記念第九演奏会と順調にスタートし、7月18日の第19回定期演奏会は世界的なピアニスト三輪郁さんをお招きし、秋山和慶の芸術監督就任披露公演として開催されます。

中部フィルの活動はますます活発化されます。新しい定期・自主公演では9月25日に豊橋の「ライフポートとよはし」で豊橋特別演奏会を、また9月30日は名古屋の「三井住友海上しらかわホール」で秋山和慶指揮による第1回モーツァルトコンサートで交響曲39、40、41番の豪華な演奏を、更に2011年1月8日には中部フィルでは初めてのニューイヤーコンサートを岐阜「サラマンカホール」でシャンソン歌手遠藤伸子さんを迎え、シャンソンとクラシックの共演を企画しました。是非皆様ご期待下さい。 A.

“飛翔” —創立10周年—



中部フィルハーモニー交響楽団は今年創立10周年を迎えます!
中部圏を代表するオーケストラとして、未来へ向けて常に進化し続け、
更なる飛躍をめざす中部フィルに、どうぞご期待ください。

第19回定期演奏会 ロマンティック・シューマン! ～秋山和慶アーティストック・ディレクター & プリンシパル・コンダクター就任記念～

2010年7月18日(日) 開場 15:30 開演 16:00 <会場>小牧市市民会館

指定席:4,000円 自由席:3,000円 小中高生(自由席のみ):500円

プログラム
メンデルスゾーン: 劇音楽「真夏の夜の夢」作品21 より序曲
シューマン: ピアノ協奏曲 イ短調 作品54
シューマン: 交響曲第3番 変ホ長調「ライン」作品97



指揮: 秋山 和慶



ピアノ: 三輪 郁

生誕200年にあたるシューマンのロマンティズム溢れる“ライン”、ピアニスト三輪郁を迎えてのピアノ協奏曲、巨匠・秋山との新たな関係をスタートする中部フィルの響きに、どうぞご期待ください。

佐藤 宏

今年から「オーケストラ特等席」と題して児童代表10数名にオーケストラの中に入り、演奏者の息遣いや指使いを間近で感じてもらったり、同じ目線で演奏を聴くという内容の新企画に挑戦した。児童の反応も様々で初体験に興奮感動の児童もいれば、キョトンとしている児童もいたが、それぞれいろいろ感じてくれたと思う。

メイン曲はチャイコフスキー作曲の「大序曲1812年」だったが、曲が長くまた難しいのではとのご意見があったので吉田指揮者と音教委員とで緊急会議を開き、どうしたら児童に楽しんでもらえるかいろいろ話し合った。様々な案が出たが「曲のイメージや情景に合った“絵”を見てもらいながら鑑賞する」ということになった。



ウ
ンドやソロヴァイオリン
の美しい音色に子供たち
の目はキラキラとしていた。